

財務局長会議
武村金融担当政務官挨拶
(平成 29 年 4 月 27 日 (木))

内閣府政務官の武村展英です。

財務局長会議の開催に当たり、私からは2点お話ししたいと思います。

まず、金融仲介の質の向上について申し述べます。

地域金融機関は、地域に根差しており、地域経済の発展なくして金融機関だけが発展することは困難であると考えられます。

このため、地域金融機関は、取引先企業と密接に対話し、その生産性向上に資する適切なアドバイスを行い、必要なファイナンス面での支援をすることが重要です。これは、地元の顧客基盤と地域経済の基盤を強固にすることに役立ち、自らの経営の安定性を確保することにもつながると考えています。これが顧客との「共通価値の創造」であり、地域金融機関がこうした持続可能なビジネスモデルを構築することが、地域経済の活性化にもつながっていくものと考えています。

こうした金融機関の取組みを促すため、金融機関の融資姿勢等の実態を把握するとともに、その結果や「金融仲介機能のベンチマーク」等の客観的な指標も活用し、金融機関との間で深度ある対話を進めていきます。

現在、各金融機関は、自行の取組みの「見える化」を進めていますが、さらに、積極的・具体的な開示を促すとともに、金融機関の事業性評価に基づく融資や本業支援等の組織的・継続的な取組みについて、優良な取組みを行っている金融機関を公表・表彰することにより、良質な金融サービスの向上に向けた金融機関間の競争を促していきます。

次に、国民の安定的な資産形成の促進について申し述べます。

少額からの長期・積立・分散投資を通じた資産形成が、我が国の家計に幅広く普及することを目指し、平成 29 年度税制改正において「積立 NISA」の創設が決定され、関連する税制改正法案が国会で可決・成立しました。金融庁といたしましては、「積立 NISA」が、今後、家計の安定的な資産形成を後押しするための有力なツールになり得るものと期待しています。

また、先月、「顧客本位の業務運営に関する原則」と、この「原則」の定着に向けた取組みを公表しました。

家計金融資産の過半を現預金が占めている現状を踏まえ、国民の安定的な資産形成を促進していくためには、金融事業者が顧客本位の業務運営を行うことが重要です。

今後、金融事業者は、この「原則」を踏まえ、顧客本位の業務運営に向けた取組みを進めていくことが期待されますが、その際には、その取組みが形式的なものにとど

まることなく、より良い金融商品・サービスの提供を競い合うことで、この「原則」が実質を伴う形で定着していくことが重要と考えています。

各財務局長におかれましても、こうした取組みの趣旨を踏まえ、国民の信頼に応える金融行政を遂行していただくようお願いして、私の挨拶といたします。

以 上